



希望の標

浜田市立浜田東中学校学校便り 第4号

令和8年7月17日(金)

〒697-0006 浜田市下府町699

TEL 0855-28-3210

FAX 0855-28-3211

E-mail higashi@hamada.ed.jp

文責 小松原 昌宏



浜田東中HPは
こちらから

【学校教育目標】

自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力の育成



連日熱戦が続き、スーパープレイに世界中が酔いしれているサッカーワールドカップ。日本代表も強豪国相手に一歩も引けを取らない戦いを見せてくれ、大いに盛り上がりました。怪我人等、様々な困難に見舞われながらも、チームの一体感と個々の高いスキルの両方で世界を圧倒した監督、選手、チームスタッフの皆さんには労いの言葉を贈るとともに、私たちに多くの元気と勇気をくれたことにも感謝したいと思います。

1学期を振り返って～ 充実の夏休みを迎え、さらなる成長の2学期へ～

67日間の1学期が終了し、本日、無事に終業式を迎えることができました。今学期を振り返りますと、学校全体が落ち着いた雰囲気の中にあり、授業や諸活動を計画に沿って着実に実施することができました。これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。この1学期、生徒たちはそれぞれの立場で大きく成長しました。

1年生は、中学校生活のスタートにあたり、学習や生徒会活動、部活動などにおいて、新鮮な気持ちや戸惑いを抱きながらも、浜田東中生の一員として一つ一つのことに精一杯取り組みました。

2年生は、中堅学年として3年生を支えながら、1年生をリードする立場としての自覚が芽生え、責任感が高まったように見受けられます。

そして3年生は、学校のリーダーとして諸活動の準備や運営に熱心に取り組む、卒業後の進路に対する意識も高まるなど、最高学年にふさわしい充実した姿を見ることができました。



総合的な学習の時間
での話し合い(1年生)



調理実習(2年生)

一方で、次の2点については今一度学校全体で見直し、2学期に向けた改善点として重点的に取り組んでまいります。

○ 交通マナーの向上

4月以降、地域の方から生徒の交通マナーに関するご指摘やご心配のお電話を何度かいただきました。また、登下校中の転倒による負傷も発生しています。本校の登下校路は交通量が多く、道幅の狭い路地も多いため、自身の安全確保はもとより、地域社会の一員として、周囲の安全・安心にも心を配れる生徒であってほしいと強く願います。ご家庭でも定期的なお声がけをお願いいたします。

○ 時間を意識した行動(よりよい時間の共有)

集団生活において、時間を意識した行動は極めて重要です。特に2学期には、体育祭や修学旅行といった大きな学校行事が数多く予定されています。限られた時間の中で行事を成功させ、お互いにとってよりよい時間を共有するためには、一人ひとりの時間への意識が欠かせません。行動が遅れることは、相手を待たせて迷惑をかけるだけでなく、活動そのものの大切な時間を縮めることにもつながります。「時は金なり」の言葉通り、「自分一人くらいは」という甘えを捨て、早めの行動を心掛け、始まりの時間を全員で美しく揃えられる集団をめざしてまいります。

明日から39日間の夏休みに入ります。ぜひ、この自由に使える時間を「今しかできない自分磨き」のために有効に費やしてほしいと思います。そして、学校生活で培ってきた力を、家庭や地域という実践の場でどれだけ発揮できるか挑戦してください。



浴衣着付け体験
(3年生)

ひと回り大きく成長した生徒皆さんと、2学期の始業式で元気な姿で再会できることを楽しみにしています。保護者・地域の皆様におかれましては、夏季休業中も生徒たちを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

卒業後の進路について考える～進路説明会開催～

6月16日・17日の2日間にわたり、県内の公立・私立高等学校や高等専門学校、特別支援学校、専門学校およびハローワークの担当者様をお招きし、各校の教育方針や特色、入試制度等について詳しくお話いただきました。



各学校とも、育成をめざす生徒像や身に付けたい力を明確に掲げ、それぞれの強みを生かした特色ある教育活動を展開されている様子が深く伝わってきました。

3年生にとっては、あと4～5か月後には自らのめざす進路を決定し、受験本番に備える時期を迎えます。夏季休業中には多くの学校でオープンスクールや体験活動が予定されていますので、今度はぜひ実際にオープンスクール等に参加し、様々な進路先の雰囲気や直接体感してきてほしいと思います。

高い目標を掲げ、将来その場所で力を発揮できるよう、この夏を通じて学力や体力、そして精神面を大きく伸ばしていってくださることを期待しています。

家庭科～幼児ふれあい体験学習～

6月8日・9日、2年生の技術・家庭科（家庭分野）の学習で、幼児ふれあい体験学習を行いました。“幼児とよりよいかかわり方を工夫すること”が学習の目的です。事前に絵本の読み聞かせの練習をして、上府保育園を訪問しました。最初は緊張していた生徒達も、保育園児と遊んだりお世話をしたりすることで、笑顔で保育園児とコミュニケーションがとれるようになっていました。絵本の読み聞かせでは、目をキラキラさせて楽しそうに聞く保育園児の様子を見て、とても嬉しかったことと思います。今回の体験学習で、年齢に応じた幼児への接し方や声かけの方法などを学ぶことができました。

【生徒の感想より】

（担当：川中）

お話の世界に引き込まれる園児たち

- ・ 意外と子どもたちが懐いてくれてとても嬉しかったです。小さい子とのコミュニケーションの仕方や、どうやら笑ってくれるかなどいろいろなことを学ぶことができました。年齢によって遊び方や言葉の使い方などが違って、それもまたおもしろかったです。とてもいい体験になって楽しかったです。
- ・ 幼児といろいろな遊びができたし、たくさん話ができて楽しかったです。絵本を読むときに目を見てくれていたので、ちゃんと聞いてくれているんだと感じました。遊び方を教えてくれたり、遊ぼうと言われて嬉しかったです。保育園の先生も絵本を読む時に、声の高さを変えて読んだりされていたので聞きやすいと思いました。



絆を深めた体験活動 ～1年校外学習～

7月9日、1年生はふるさと校外学習で、石見畳ヶ浦に行きました。ふるさとの自然の素晴らしさを再確認し、郷土への関心をもつことや畳ヶ浦の地層の学習をねらいとし、ボランティアガイドさんの話を聞きながら、班ごとに畳ヶ浦の化石や地層などを見てまわりました。暑い中でしたが、生徒たちは一生懸命メモを取りながら、ガイドさんの話を聞いていました。

また帰校後は、協力して作業を行うことの意義を感じることをねらいとし、調理やレクリエーションもしました。生徒が決めた今回の研修のスローガンは『団結おにぎり』でした。このスローガンには、「おにぎりのようにみんながまとまって、仲良く団結して、ふるさとのよさをみつけよう」という意味が込められています。

研修当日は一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と協力をして1日を過ごすことができました。この「自分たちで創り上げる」という活動は、来年度の修学旅行に向けて大きなステップになりました。（担当：湊谷）



生徒会が企画・運営！ ワールドカップ全校パブリックビューイング

6月26日、サッカーワールドカップ「日本対スウェーデン戦」が行われました。朝8時キックオフという時間帯だったため、生徒からは「オンタイムで観戦したい」という熱い要望が寄せられました。

私からは、すでに授業が組まれているため「休憩時間であればテレビ放映が可能であること」、そして「生徒会主導で運営できるなら実施してもよい」という条件を提示しました。

これを受け、前日に生徒会長から全校生徒へ計画の発表と、授業に遅れないこと、マナーを守って観戦することの呼びかけがありました。

当日は、多目的ホールで、学級朝礼の前後、1校時後の各休憩時間にパブリックビューイングを実施しました。1点を争う熱戦に目が離せない展開となりましたが、生徒会総務部の見事な進行のもと、生徒たちは授業と休憩のメリハリをしっかりとつけ、マナーを守って熱い声援を送っていました。

生徒たちの主体性と、学校生活を大切に作る姿勢が光った素晴らしい取組となりました。

